

別紙1 (回答主体: 機構本部、別紙2のみ各病院)

令和5年度 or 第3期 見込評価	【今後取り組むべき課題】等	課題を踏まえ、確認したい点	質問に対する回答及び 関連する考察	今後の取組
5年度	大項目4 今後の経営状況と医療提供を考慮した適切な設備投資の規模・水準について、令和6年度から開始している機構未来プロジェクトにて検討されたい。	人的・物的な投資額について、資金収支の改善に資する、収入額に連動した <u>指標</u> の検討状況		
		今年度開始された投資2段階審査プロセスにおける <u>採算性の定量的分析手法</u> （例：収益予想に基づいた割引現在価値法）		
		（以下、機構未来プロジェクト関連） <u>収益・費用の分析</u> 状況		
		<u>部門別原価計算</u> による採算性の分析状況		
		<u>委託期間満了後も</u> 法人内で継続的に仕組みやシステムを活用できるような整備に係る状況		
5年度	大項目4 設備投資については将来の償還額や資金残高とのバランスが必須であることから、機構本部と各病院との間で投資・財政計画等を共有、運用されたい。	機構本部と各病院との間での投資・財政計画等の共有、運用状況		
		<u>各病院の医業収益増・医業費用減、投資のコスト回収状況等を評価する仕組み</u> の検討状況		

県立病院機構へ確認中

令和5年度 or 第3期 見込	【今後取り組むべき課題】等	課題を踏まえ、確認したい点	質問に対する回答及び 関連する考察	今後の取組
第3期見込	<p>大項目2</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 目標達成に向けた業務を効率的に運営するための内部統制システムの構築と本部機能の強化に取り組まれたい。 ➤ 管理会計ツールによる本部と各病院の連携や経営管理を強化・促進するなど、業務改善に継続して取り組む体制を構築されたい。 	<p>(第4期中期計画の第3の内容も踏まえて)</p> <p>本部機能の強化に資する、<u>定量的判断基準により経営改善策を講じることのできるような仕組み</u>づくりの検討内容（今後検討予定のものも含む）</p>		<p>県立病院機構へ確認中</p>
第3期見込	<p>大項目3</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 収益面は、コロナ後の受療動向の変化で患者数が減少した状態が続く中ではあるが、患者増や更なる診療報酬加算や施設基準、DPC評価係数の向上等により収益確保に取り組む必要がある。 ➤ 費用面は給与費では投資財政計画と連動した職員採用計画等を策定し適正規模・配置を管理していくことが必要である。また、材料費や医薬品費も現在の取組をさらに強化する必要がある。 	<p>別紙2に掲げる各科目に関する中期計画値との乖離及び期中の推移に係る分析</p>		<p>別紙2に記載</p> <p>(県立病院機構へ確認中)</p>